

様式第1号の2 (第3条関係)

実務経歴書

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む。）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、 二級木造 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。 令和〇〇年〇〇月〇〇日				
氏名 建築 士郎				
長崎県指定登録機関 一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様				
勤務先等				
勤務先（部課名まで）		所在地（番地まで）		
〇〇県〇〇市〇〇部〇〇課		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地		
		在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	
		H31年4月～R4年6月	3年3月	
在職期間		地位職名 建築実務の内容（建築士法施行規則第10条）		
年月～年月	年月数			
R2年4月～R4年3月	2年0月	技師、主任	住宅行政に関する実務	
建築実務の詳細			建築実務経験期間の合計	
			2年 0月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
	木造住宅耐震改修促進事業	—	年月～年月	年月数
			R2年4月～R3年3月	1年0月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
〇〇市における木造住宅耐震改修促進事業において、木造住宅の耐震改修費用の補助申請に関する関係書類の審査の補助、及び完了報告書の審査の補助を担当した。(〇件)				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
	特定空き家等の判定	—	年月～年月	年月数
			R3年4月～R4年3月	1年0月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
〇〇市において、特定空き家等の可能性が高い建築物について、現地調査で調査票をもとに対象建築物の老朽度や危険度等のチェック等の業務を担当した。(〇件)				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～年 月	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
※経由庁（機関）記載欄			※登録機関記載欄	